

事前広報

平成30年度地域産学官と技術士との合同セミナーのご案内

- 開催テーマ 『地域防災を考える～火山と共に生きる～』
- 開催日時 平成31年3月9日（土） 13時～16時45分
- 開催場所 鹿児島市勤労者交流センター第1会議室
鹿児島中央駅前イオン7階（鹿児島市中央町10番）
- 主催 公益社団法人日本技術士会 九州本部
- 共催 鹿児島県支部・佐賀県支部・長崎県支部・熊本県支部
・大分県支部・宮崎県支部
- 後援 国土交通省九州地方整備局・鹿児島県・鹿児島市
鹿児島大学地震火山地域防災センター
- 参加対象 鹿児島県内外の産・学・官関係者、技術士等（一般聴講可とする）
- 参加費 資料代として1,000円（会員）・1,500円（非会員）



桜島噴火



新燃岳火口

鹿児島大学地震火山地域防災センター センター長 地頭 隆 教授 提供

開催趣旨

自然災害の中でも火山活動に関する災害は、噴火災害から火山性地質分布域の土砂災害と、対象となる時間のスケールも被災地域の広がりにも大きな幅があります。九州は特に活火山も多く分布しており、全国 111 のうち 17 の活火山が分布している地域です。また、カルデラ構造も多く、行政界をまたぐ大構造であることから対策の検討は広域化します。現在も注視すべき噴火災害には、霧島火山地域の新燃岳や硫黄岳の噴火に伴う農作物への影響など社会・経済へ直結する被害へと拡大していくものがあり、対策や対応の内容も多様化しています。

九州の活火山 17 のうち 11 を抱える鹿児島県において、今回、地域産学官合同セミナーを開催する運びとなりました。セミナーのテーマを『地域防災を考える～火山と共に生きる～』とし、技術・研究に携わる方々が、異分野の関わりも学びつつ連携を深める機会となることを期待しています。昨今、防災への取組みがボトムアップ型で進められておりま

す。市民生活と直接関わる産学官それぞれの立場で連携の道を探り、このセミナーが今後へ繋がるための一助となれば幸いです。

数多くの関係諸氏のご参加をお願い申し上げます。

平成 30 年 12 月吉日

公益社団法人日本技術士会・九州本部 本部長 佐竹 芳郎

地域産学官連携セミナー実行委員会

開催内容

13:10～14:10 基調講演 鹿児島大学名誉教授 下川 悦郎 先生
(平成 29 年防災功労者内閣総理大臣表彰)

14:10～14:20 休憩

14:20～15:20 事例発表 20 分 3 件

鹿児島県危機管理局危機管理防災課長 玉利雅昭氏

鹿児島市危機管理局危機管理課長 中 豊司氏

NPO 法人桜島ミュージアム理事長 福島大輔氏

15:20～15:30 休憩

15:30～16:30 パネルディスカッション

コーディネーター 日本技術士会九州本部防災委員会

16:30～16:45 総括・閉会挨拶

* 基調講演に自治体の防災委員会等歴任されている下川名誉教授をお招きし、事例発表では自治体・民間から火山防災に関する取組みについてお話いただきます。パネルディスカッションでは講演者全員にパネリストとしてご登壇いただき、技術士会員によるコーディネーターと火山防災のテーマについてご議論いただきます。特に産学官の連携について議論が深まれば幸いです。